

食品企業のための サステナブル経営に関するガイダンス

付録：目標設定・開示項目参考集

令和5年3月

農林水産省

大臣官房 新事業・食品産業部

新事業・食品産業政策課 ファイナンス室

本付録について

- 本付録は、国内外の政府や国際機関、民間イニシアチブによる基準やガイダンス等を基に、食品企業との関連が深い7つのESG課題について、目標設定や情報開示の項目を例示的に紹介するものです。「食品企業のためのサステナブル経営に関するガイダンス」本編とあわせて、適宜ご参照ください。
- なお、本付録は、掲載している各基準やガイダンス等への準拠を求める、または準拠を推奨するものではありません。
- また、より簡便な例示とするため、複数の基準やガイダンス等が定める目標設定や情報開示の項目が類似している場合は、共通する表現になるよう修正して掲載しているものがあります。そのため、各基準やガイダンス等が定める目標設定や情報開示の項目の背景や趣旨、詳細を理解するためには、本付録だけでなく、各基準やガイダンス等の原典を直接ご参照ください。

目次

I. ESG課題別 目標設定の項目例	・ ・ ・ ・ ・ 3
● 気候変動	・ ・ ・ ・ ・ 4
● 人権尊重	・ ・ ・ ・ ・ 5
● 食品ロス削減・食品廃棄物リサイクル	・ ・ ・ ・ ・ 6
● 脱プラスチック、容器包装リサイクル	・ ・ ・ ・ ・ 7
● 自然環境・生物多様性の保全	・ ・ ・ ・ ・ 8
● アニマルウェルフェアへの配慮、抗菌剤使用の抑制	・ ・ ・ ・ ・ 10
● 消費者の健康・栄養	・ ・ ・ ・ ・ 11
II. ESG課題別 情報開示の項目例	・ ・ ・ ・ ・ 13
● 気候変動	・ ・ ・ ・ ・ 14
● 人権尊重	・ ・ ・ ・ ・ 18
● 食品ロス削減・食品廃棄物リサイクル	・ ・ ・ ・ ・ 20
● 脱プラスチック、容器包装リサイクル	・ ・ ・ ・ ・ 21
● 自然環境・生物多様性の保全	・ ・ ・ ・ ・ 23
● アニマルウェルフェアへの配慮、抗菌剤使用の抑制	・ ・ ・ ・ ・ 27
● 消費者の健康・栄養	・ ・ ・ ・ ・ 28

I. ESG課題別 目標設定の項目例

気候変動に関する目標（例）

目標項目	単位	目標水準	該当する基準・ガイダンス等
GHG排出量の削減			
GHG排出量（スコープ無し）	トンCO2e	2030年度に2013年度比46%削減	日本政府の排出削減目標（国が決定する貢献）
		2050年度にネットゼロ	日本政府の排出削減目標（パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略）
農林水産業のCO2排出量(燃料燃焼)	トンCO2e	2030年度に2013年度比10.6%削減	農林水産省「みどりの食料システム戦略」
		2050年度に100%削減	
スコープ1及びスコープ2排出量	トンCO2e	1.5℃目標に整合した削減	World Benchmarking Alliance（WBA） 「食品・農業ベンチマーク」
		5～10年後に向けて4.2%/年以上削減 （中小企業の場合は2030年に向けて4.2%/年以上削減）	Science Based Targets（SBT）イニシアチブ
スコープ3排出量	トンCO2e	1.5℃目標に整合した削減	World Benchmarking Alliance（WBA） 「食品・農業ベンチマーク」
		5～10年後に向けて2.5%/年以上削減 （中小企業の場合は2030年に向けて削減）	Science Based Targets（SBT）イニシアチブ
GHG排出量（バリューチェーン全体）	トンCO2e	遅くとも2050年までに90%以上削減	Science Based Targets（SBT）イニシアチブ
		2050年までにネットゼロ	Climate Action 100+
エネルギー消費量の削減（省エネ）			
エネルギー消費原単位	GJ/売上高 など	年平均1%以上の削減	エネルギーの使用の合理化等に関する法律（通称省エネ法）
再生可能エネルギー割合の増加			
使用電力量に占める再生可能エネルギー 由来電力の割合	%	2030年までに60%、2040年までに90%、遅くとも2050年までに100%	RE100

（出所）日本政府「国が決定する貢献（NDC）」、日本政府「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」、農林水産省「みどりの食料システム戦略 KPI2030年目標の設定について」、WBA「Methodology for the Food and Agriculture Benchmark」、SBTイニシアチブ「SBTi Criteria and Recommendations」、SBTイニシアチブ「SBTi CORPORATE NET ZERO STANDARD CRITERIA」、Climate Action 100+ウェブサイト、RE100「Joining Criteria」に基づき作成

人権尊重に関する目標（例）

目標項目	単位	目標水準	該当する基準・ガイダンス等
人権尊重の責任を果たす体制を構築・維持する			
人権方針の策定	—	—	国連「ビジネスと人権に関する指導原則」
			ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策推進・連絡会議 「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」
			World Benchmarking Alliance (WBA) 「食品・農業ベンチマーク」「企業人権ベンチマーク (CHRB)」
			KnowTheChain
			FAIRR「たんぱく質生産者インデックス」
人権デュー・ディリ ジェンスの実施	—	—	国連「ビジネスと人権に関する指導原則」
			ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策推進・連絡会議 「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」
			World Benchmarking Alliance (WBA) 「食品・農業ベンチマーク」「企業人権ベンチマーク (CHRB)」
			KnowTheChain
			FAIRR「たんぱく質生産者インデックス」
救済措置の実施	—	—	PRI「農業サプライチェーン上の労働慣行の問題に取り組む投資家協働エンゲージメントプログラム」
			国連「ビジネスと人権に関する指導原則」
			ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策推進・連絡会議 「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」
			World Benchmarking Alliance (WBA) 「食品・農業ベンチマーク」「企業人権ベンチマーク (CHRB)」
			KnowTheChain
	—	—	PRI「農業サプライチェーン上の労働慣行の問題に取り組む投資家協働エンゲージメントプログラム」
			国連「ビジネスと人権に関する指導原則」
			ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策推進・連絡会議 「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」
			World Benchmarking Alliance (WBA) 「食品・農業ベンチマーク」「企業人権ベンチマーク (CHRB)」
			KnowTheChain

（出所）国連「ビジネスと人権に関する指導原則」、ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策推進・連絡会議「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」、WBA「Methodology for the Food and Agriculture Benchmark」、WBA「Corporate Human Rights Benchmark Methodology Food and agricultural products sector」、KnowTheChain「ベンチマーク手法－食品・飲料部門 第3版（2019年8月）」、FAIRR「About the Collier FAIRR Protein Producer Index」、PRIウェブサイトに基づき作成

食品ロス削減・食品廃棄物リサイクルに関する目標（例）

目標項目	単位	目標水準	該当する基準・ガイダンス等
食品ロス・食品廃棄物等発生量の削減（発生抑制）			
事業系食品ロス発生量	トン	2030年度までに2000年度比50%削減	食品リサイクル法 基本方針
		2030年度までに2000年比50%削減、2050年度までに最小化	農林水産省「みどりの食料システム戦略」
食品廃棄物等の単位当たりの発生量	トン/売上高など	業種別に設定	食品リサイクル法
小売・消費段階における食品廃棄（Food waste）発生量	トン	2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食品廃棄物を半減させる	国連「持続可能な開発目標（SDGs）」（ターゲット12.3）
			10×20×30イニシアチブ
食品ロス・食品廃棄物発生量	トン	削減	World Benchmarking Alliance（WBA）「食品・農業ベンチマーク」
食品ロス・食品廃棄物等のリサイクル率向上			
食品循環資源の再生利用等の実施率	%	2024年度までに、食品製造業で95%、食品卸売業で75%、食品小売業で60%、外食産業で50%	食品リサイクル法 基本方針

脱プラスチック、容器包装リサイクルに関する目標（例）

目標項目	単位	目標水準	該当する基準・ガイダンス等
プラスチックの削減			
ワンウェイプラスチック（容器包装等）の排出量	トン	2030年までにこれまでの努力も含め累積で25%排出抑制	農林水産省等「プラスチック資源循環戦略」
プラスチックの使用量	トン	2025年までに問題のある、または不要なプラスチック包装の廃止	PRIプラスチック投資家作業部会
		削減	World Benchmarking Alliance（WBA） 「食品・農業ベンチマーク」
プラスチック廃棄物の再資源化			
リユース・リサイクル・堆肥化が可能なプラスチック製容器包装の割合	%	2025年までにプラスチック製容器包装・製品のデザインを技術的に分別容易かつリユース・リサイクル可能なものとする	農林水産省等「プラスチック資源循環戦略」
		2025年までに100%（重量ベース）	PRIプラスチック投資家作業部会
プラスチック製容器包装のリユース・リサイクル・堆肥化率	%	2030年までにプラスチック製容器包装の6割をリユース・リサイクル、2035年までにすべての使用済みプラスチックをリユース・リサイクル等により有効利用（熱回収を含む）	農林水産省等「プラスチック資源循環戦略」
		40%以上をリユース・リサイクル・堆肥化（重量ベース）	PRIプラスチック投資家作業部会
再生材・バイオ由来成分の利用拡大			
プラスチックの再生利用量（再生素材の利用）	%	2030年までに倍増	農林水産省等「プラスチック資源循環戦略」
プラスチック包装における再生材の使用割合	%	2025年までに15~30%（重量ベース）	PRIプラスチック投資家作業部会
バイオマスプラスチックの使用量	トン	最大限（約200万トン）導入	農林水産省等「プラスチック資源循環戦略」

自然環境・生物多様性の保全に関する目標（例） 1/2

目標項目	単位	目標水準	基準・ガイダンス等
水資源の持続的な利用			
取水量	m3、 m3/売上高 など	削減	World Benchmarking Alliance（WBA） 「食品・農業ベンチマーク」 PRI「農業サプライチェーン上の水リスクに関する 投資家協働エンゲージメントプログラム」
水消費量	m3、 m3/売上高 など	削減	PRI「農業サプライチェーン上の水リスクに関する 投資家協働エンゲージメントプログラム」
排水の質	mg/Lなど	汚染物質別に設定	各国・地域の法令（水質汚濁防止法など）
自然環境・生物多様性に配慮した原材料調達の増加			
持続可能性に配慮した輸入原材料 調達の取組割合	%	2030年までに上場食品企業の100%	農林水産省「みどりの食料システム戦略」
森林減少面積	ha	2030年までに森林の消失と土地の劣化を食い止める	各国政府「森林・土地利用に関するグラスゴー・ リーダーズ宣言」
森林減少方針を遵守している サプライヤーからの調達割合	%	—	PRI持続可能な一次製品に関する投資家作業部会 Global Canopy「Forest 500」
化学農薬使用量	リスク換算	2030年までに2019農薬年度比10%低減、2050年ま でに2019農薬年度比50%低減	農林水産省「みどりの食料システム戦略」
農薬及び有害性の高い化学物質に よる全体的なリスク	（不明）	2030年までに半減	国連生物多様性枠組条約「昆明・モントリオール 生物多様性枠組」
輸入原料や化石燃料を原料とした 化学肥料使用量	トン	2030年までに2016肥料年度比20%低減、2050年ま でに30%低減	農林水産省「みどりの食料システム戦略」
環境中に流出する過剰な栄養素	（不明）	2030年までに半減	国連生物多様性枠組条約「昆明・モントリオール 生物多様性枠組」
肥料や農薬の使用	トンなど	最適化	World Benchmarking Alliance（WBA） 「食品・農業ベンチマーク」

自然環境・生物多様性の保全に関する目標（例） 2/2

目標項目	単位	目標水準	基準・ガイダンス等
自然環境・生物多様性に配慮した原材料調達の増加			
耕地面積に占める有機農業の割合	%	2050年までに25%	農林水産省「みどりの食料システム戦略」
土壌の健全性や農業生物多様性を向上させる方法で生産された製品割合	%	増加	World Benchmarking Alliance (WBA) 「食品・農業ベンチマーク」
漁業量	トン	2030年までに2010年と同程度（444万トン）に回復	農林水産省「みどりの食料システム戦略」
人工種苗比率	%	2030年までにニホンウナギ、クロマグロ等の養殖において13%、2050年までに同100%	農林水産省「みどりの食料システム戦略」
養魚飼料における配合飼料割合	%	2030年までに64%、2050年までに100%	農林水産省「みどりの食料システム戦略」
持続可能な水産物の調達・生産の割合	%	増加	World Benchmarking Alliance (WBA) 「食品・農業ベンチマーク」
その他			
生態系の保全割合	%	2030年までに陸域及び内陸水域並びに沿岸域及び海域の30%以上	国連生物多様性枠組条約「昆明・モントリオール生物多様性枠組」

アニマルウェルフェアへの配慮、抗菌剤使用の抑制に関する目標（例）

目標項目	単位	目標水準	基準・ガイダンス等
アニマルウェルフェアに配慮した原材料や、抗菌剤使用が抑制された原材料の調達増加			
すべての種、地域、製品に適用される、主要なアニマルウェルフェアへの配慮に取り組む目標	%など	—	World Benchmarking Alliance（WBA） 「食品・農業ベンチマーク」
ケージフリーの採卵鶏の割合	%	—	BBFAW 「家畜福祉に関するビジネス・ベンチマーク」
妊娠雌豚ストールを使っていない生鮮・冷凍豚肉、原材料の割合	%	—	
繋ぎ飼いされていない乳牛からの牛乳、乳製品、原材料の割合	トン	—	
生鮮、冷凍鶏肉用ブロイラーにおける低密度飼育（30kg/m ² 以下）の割合	%	—	
切断行為を禁止している家畜の割合（地理、畜種、製品別）	%	—	
断嘴されていない採卵鶏の割合	%	—	
断尾されていない豚の割合	%	—	
断尾されていない乳用牛の割合	%	—	
畜種ごとの環境エンリッチメントを施された家畜の割合（地理、畜種、製品別）	%	—	World Benchmarking Alliance（WBA） 「食品・農業ベンチマーク」
改善されたウェルフェアとよりゆっくりとした成長（育種企業の仕様による成長サイクル以上で、平均して55グラム/日以下）で飼養された鶏由来の鶏肉の割合	%	—	
医学的に重要な抗菌剤の使用量	mgなど	削減（予防的使用はゼロ）	
医学的に重要な抗菌剤を受けた（受けていない）動物生産の割合	%		BBFAW 「家畜福祉に関するビジネス・ベンチマーク」

消費者の健康・栄養に関する目標（例） 1/2

目標項目	単位	目標水準	基準・ガイダンス等
より健康的で栄養面に配慮した食品・メニューの提供・販売の促進			
健康的な（自社の定義による）食品・メニューの割合	%	増加	World Benchmarking Alliance（WBA） 「食品・農業ベンチマーク」
健康的な食品の販売促進に費やすマーケティング予算の割合	%	増加	
食堂等において従業員に提供している健康的なメニュー	メニュー数、%など	増加	
食塩／トランス脂肪酸・飽和脂肪酸／糖質・カロリーの過剰摂取の抑制			
食塩の過剰摂取	－	削減	厚生労働省 「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ」
食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業及び飲食店の登録数	企業数	2022年度に食品企業登録数100社、 飲食店登録数 30,000店舗	厚生労働省「国民の健康の推進の総合的な推進を図るための基本的な方針」（健康日本21）
食塩の製品含有量	mgなど	削減	栄養アクセス・イニシアチブ（ATNI） 「栄養アクセス・インデックス」
トランス脂肪酸、飽和脂肪酸の製品含有量	mgなど	削減	
製品の糖質含有量及びカロリー	mg、kcal など	削減	
野菜、果物、ナッツ類、豆類等の摂取増加			
製品の果物、野菜、ナッツ類、豆類使用量	mgなど	増加	栄養アクセス・イニシアチブ（ATNI） 「栄養アクセス・インデックス」
製品の全粒粉使用量	mgなど	増加	

消費者の健康・栄養に関する目標（例） 2/2

目標項目	単位	目標水準	基準・ガイダンス等
適性体重の維持			
若年女性のやせの者の割合	—	2022年度に20歳代女性の20%	厚生労働省「国民の健康の推進の総合的な推進を図るための基本的な方針」（健康日本21）
適正体重を維持している者の割合	%	2022年度に20歳～60歳代男性の肥満者28%、40歳～60歳代女性の肥満者19%	厚生労働省「国民の健康の推進の総合的な推進を図るための基本的な方針」（健康日本21）
経済格差に伴う栄養格差の解消			
飢餓を撲滅し、全ての人々、特に貧困層及び幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られるようにする	—	2030年までに実現	国連「持続可能な開発目標（SDGs）」（ターゲット2.1）
経済格差に伴う栄養格差の解消	—	—	厚生労働省「国民の健康の推進の総合的な推進を図るための基本的な方針」（健康日本21）
弱者の健康的な食品へのアクセスと価格を改善するための目標	商品数など	増加	World Benchmarking Alliance（WBA）「食品・農業ベンチマーク」
健康的な基準を満たさない製品と比べて、健康的な製品の値ごろ感や物理的な入手しやすさを向上させるための目標	商品数など	増加	栄養アクセス・イニシアチブ（ATNI）「栄養アクセス・インデックス」
優先される人々の微量栄養素の欠乏に対処することを目的とした製品の手頃な価格や物理的な入手しやすさを改善するための目標	商品数など	増加	
子ども・女性の栄養不良の解消			
5歳未満の子どもの発育障害や衰弱について国際的に合意されたターゲットを2025年までに達成するなど、あらゆる形態の栄養失調を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦および高齢者の栄養ニーズへの対応を行う	—	2030年までに実現	国連「持続可能な開発目標（SDGs）」（ターゲット2.2）

II. ESG課題別 情報開示の項目例

気候変動に関する開示項目（例） 1/4

開示項目	該当する基準・ガイダンス等
戦略	
気候関連のリスク・機会	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）「最終提言」
	国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）「気候関連開示に関する要求事項（IFRS S2号）」（案）
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	CDP「気候変動質問書」
気候変動シナリオによって主要作物にもたらされるリスクおよび/または機会	Sustainability Accounting Standards Board（SASB）「サステナビリティ会計基準」（農産物）
気候関連リスク・機会が事業、財務等に及ぼす影響	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）「最終提言」
	国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）「気候関連開示に関する要求事項（IFRS S2号）」（案）
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	CDP「気候変動質問書」
	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
脱炭素に向けた事業戦略や計画	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）「最終提言」
	国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）「気候関連開示に関する要求事項（IFRS S2号）」（案）
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	CDP「気候変動質問書」
	Climate Action 100+
気候変動による飼料調達と家畜供給の機会とリスクを管理する戦略	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（食肉・鶏肉・乳製品）
スコープ1の排出量を管理するための戦略または計画	

（出所）気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）「最終提言」、ISSB「Exposure Draft ED/2022/S2 Climate-related Disclosures」、EFRAG「Draft ESRS E1 Climate change」、CDP「CDP Climate Change 2022 Questionnaire」、SASB「サステナビリティ会計基準（農産物、食肉・鶏肉・乳製品）」、Climate Action 100+ウェブサイト、GRI「GRI 201: 経済パフォーマンス」に基づき作成

気候変動に関する開示項目（例） 2/4

開示項目	該当する基準・ガイダンス等
戦略	
気候関連のシナリオ分析	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）「最終提言」
	国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）「気候関連開示に関する要求事項（IFRS S2号）」（案）
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	CDP「気候変動質問書」
	Climate Action 100+
指標・目標	
スコープ1排出量	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）「最終提言」
	国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）「気候関連開示に関する要求事項（IFRS S2号）」（案）
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	CDP「気候変動質問書」
	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
	Sustainability Accounting Standards Board（SASB）「サステナビリティ会計基準」（農産物、食肉・鶏肉・乳製品）
スコープ2排出量、 スコープ3排出量、 GHG排出量原単位	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）「最終提言」
	国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）「気候関連開示に関する要求事項（IFRS S2号）」（案）
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	CDP「気候変動質問書」
	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」

気候変動に関する開示項目（例） 3/4

開示項目	該当する基準・ガイダンス等
指標・目標	
冷媒によるスコープ1排出量	Sustainability Accounting Standards Board (SASB) 「サステナビリティ会計基準」 (食品小売・流通業者)
オゾン破壊係数ゼロの冷媒の割合	
平均冷媒排出率	
GHG排出量の削減・除去・回避	欧州財務報告諮問グループ (EFRAG) 「欧州サステナビリティ報告基準」 (案)
カーボン・オフセットの使用	国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) 「気候関連開示に関する要求事項 (IFRS S2号)」 (案)
	欧州財務報告諮問グループ (EFRAG) 「欧州サステナビリティ報告基準」 (案)
	CDP 「気候変動質問書」
移行リスク・物理的リスクに脆弱な資産または事業活動の量、割合	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 「最終提言」
	国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) 「気候関連開示に関する要求事項 (IFRS S2号)」 (案)
機会に沿った資産または事業活動の量及び割合	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 「最終提言」
	国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) 「気候関連開示に関する要求事項 (IFRS S2号)」 (案)
リスク・機会に向けた資本支出、資金調達、または投資の量	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 「最終提言」
	国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) 「気候関連開示に関する要求事項 (IFRS S2号)」 (案)
内部炭素価格 (インターナル・カーボン・プライシング)	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 「最終提言」
	国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) 「気候関連開示に関する要求事項 (IFRS S2号)」 (案)
	CDP 「気候変動質問書」

気候変動に関する開示項目（例） 4/4

開示項目	該当する基準・ガイダンス等
指標・目標	
エネルギー消費量	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	CDP「気候変動質問書」
	Sustainability Accounting Standards Board（SASB）「サステナビリティ会計基準」（農産物、加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料、食品小売・流通業者、レストラン）
	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
エネルギー消費に占める系統電力及び再生可能エネルギーの割合	Sustainability Accounting Standards Board（SASB）「サステナビリティ会計基準」（農産物、食肉・鶏肉・乳製品、加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料、食品小売・流通業者、レストラン）
輸送用燃料の消費量と再生可能な割合	Sustainability Accounting Standards Board（SASB）「サステナビリティ会計基準」（農産物、ノンアルコール飲料、食品小売・流通業者）
エネルギー消費原単位	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
エネルギー支出額	CDP「気候変動質問書」

（出所）気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）「最終提言」、ISSB「Exposure Draft ED/2022/S2 Climate-related Disclosures」、EFRAG「Draft ESRS E1 Climate change」、CDP「CDP Climate Change 2022 Questionnaire」、SASB「サステナビリティ会計基準（農産物、食肉・鶏肉・乳製品、加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料、食品小売・流通業者、レストラン）」、GRI「GRI 302: エネルギー」に基づき作成

人権尊重に関する開示項目（例） 1/2

開示項目	該当する基準・ガイダンス等
戦略	
人権尊重の方針 （自社の労働者、バリューチェーン上の労働者を含む）	ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策推進・連絡会議「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	World Benchmarking Alliance（WBA）「食品・農業ベンチマーク」「企業人権ベンチマーク（CHRB）」
	KnowTheChain
	FAIRR「たんぱく質生産者インデックス」
人権尊重に関するサプライヤー行動規範	KnowTheChain
	PRI「農業サプライチェーン上の労働慣行の問題に取り組む投資家協働エンゲージメントプログラム」
特定・評価した人権リスク・影響	ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策推進・連絡会議「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	World Benchmarking Alliance（WBA）「食品・農業ベンチマーク」
	KnowTheChain
	PRI「農業サプライチェーン上の労働慣行の問題に取り組む投資家協働エンゲージメントプログラム」
人権リスク・影響を予防・緩和・救済するための対策、実施した内容とその有効性	ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策推進・連絡会議「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
	World Benchmarking Alliance（WBA）「食品・農業ベンチマーク」「企業人権ベンチマーク（CHRB）」
	KnowTheChain
	PRI「農業サプライチェーン上の労働慣行の問題に取り組む投資家協働エンゲージメントプログラム」

（出所）ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策推進・連絡会議「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」、EFRAG「Draft ESRS S1 Own workforce」「Draft ESRS S2 Workers in the value chain」「Draft ESRS S3 Affected communities」、WBA「Methodology for the Food and Agriculture Benchmark」、WBA「Corporate Human Rights Benchmark Methodology Food and agricultural products sector」、KnowTheChain「ベンチマーク手法－食品・飲料部門 第3版（2019年8月）」、FAIRR「About the Collier FAIRR Protein Producer Index」、PRIウェブサイト、GRI「GRI 406: 被差別」、GRI「GRI 407: 結社の自由と団体交渉」、GRI「GRI 408: 児童労働」、GRI「GRI 409: 強制労働」、GRI「GRI 411: 先住民族の権利」、GRI「GRI 413: 地域コミュニティ」に基づき作成

人権尊重に関する開示項目（例） 2/2

開示項目	該当する基準・ガイダンス等
指標・目標	
重要な負の影響の管理、正の影響の推進、重要なリスクと機会の管理に関する目標	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
人権方針や手順に関する従業員研修（研修の総時間数、研修を受けた従業員の割合）	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
人権レビューやインパクト評価の対象とした事業所（総数、割合）	
人権条項を含むもしくは人権スクリーニングを受けた重要な投資協定および契約（総数、割合、「重要な投資協定」の定義）	
社会的基準により選定した新規サプライヤー（割合）	
地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所（割合）	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（農産物、食肉・鶏肉・乳製品）
業務上の総記録可能事故率、業務上死亡災害度数率	
正社員、季節従業員および移民従業員のニアミス頻度数率	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（農産物）
第三者機関の環境・社会規範の認証を受けた調達農産物の割合と基準別の割合	
サプライヤーの社会的・環境的責任監査（不適合率、重大な不適合と軽微な不適合の是正措置率）	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（農産物、加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料）
第三者機関の環境・社会規範の認証を受けた食品成分の割合と基準別の割合	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（加工食品）

（出所）EFRAG「Draft ESRS S1 Own workforce」「Draft ESRS S2 Workers in the value chain」「Draft ESRS S3 Affected communities」、GRI「GRI 412: 人権アセスメント」、GRI「GRI 414: サプライヤーの社会面のアセスメント」、SASB「サステナビリティ会計基準（農産物、食肉・鶏肉・乳製品、加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料）」に基づき作成

食品ロス削減・食品廃棄物リサイクルに関する開示項目（例）

開示項目	該当する基準・ガイダンス等
戦略	
資源利用及び循環経済の管理に関する方針	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
食品ロス（資源利用及び循環経済）関連のリスク・機会	経済産業省・環境省 「サーキュラー・エコノミーに係るサステナブルファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス」
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
食品ロス（資源利用及び循環経済）関連のリスク・機会が事業、財務等に及ぼす影響	経済産業省・環境省 「サーキュラー・エコノミーに係るサステナブルファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス」
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
廃棄物の発生と廃棄物関連の著しいインパクト	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
食品ロス削減・食品廃棄物リサイクルに向けた事業戦略や計画	経済産業省・環境省 「サーキュラー・エコノミーに係るサステナブルファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス」
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
指標・目標	
生成された食品廃棄物の量	Sustainability Accounting Standards Board（SASB）「サステナビリティ会計基準」（食品小売・流通業者）
廃棄物総量に占める食品廃棄物の割合	Sustainability Accounting Standards Board（SASB）「サステナビリティ会計基準」（レストラン）
転用または再利用された食品廃棄物の量（社会福祉機関等へ寄付した売れない食品を含む）	Sustainability Accounting Standards Board（SASB）「サステナビリティ会計基準」（食品小売・流通業者、レストラン）
発生した廃棄物の量	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
処分された廃棄物の総重量と内訳（廃棄物の組成別、有害・非有害廃棄物の処分業務別）	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」

脱プラスチック、容器包装リサイクルに関する開示項目（例） 1/2

開示項目	該当する基準・ガイダンス等
戦略	
資源利用及び循環経済の管理に関する方針	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
プラスチック（資源利用及び循環経済）関連のリスク・機会	経済産業省・環境省 「サーキュラー・エコノミーに係るサステナブルファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス」
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	PRIプラスチック投資家作業部会
プラスチック（資源利用及び循環経済）関連のリスク・機会が事業、財務等に及ぼす影響	経済産業省・環境省 「サーキュラー・エコノミーに係るサステナブルファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス」
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
廃棄物の発生と廃棄物関連の著しいインパクト	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
脱プラスチック、容器包装リサイクルに向けた事業戦略や計画	経済産業省・環境省 「サーキュラー・エコノミーに係るサステナブルファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス」
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	PRIプラスチック投資家作業部会
指標・目標	
プラスチック容器包装使用量	経済産業省・環境省 「サーキュラー・エコノミーに係るサステナブルファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス」
	PRIプラスチック投資家作業部会
	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料、レストラン）
廃棄されたワンウェイプラスチックの量	経済産業省・環境省 「サーキュラー・エコノミーに係るサステナブルファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス」

（出所）EFRAG「Draft ESRS E5 Resource use and circular economy」、経済産業省・環境省「サーキュラー・エコノミーに係るサステナブルファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス」、PRI「A Guide to Investor Engagement on Plastic Packaging: Fast-moving Consumer Goods」、GRI「GRI 306: 廃棄物」、SASB「サステナビリティ会計基準」（加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料、レストラン）に基づき作成

脱プラスチック、容器包装リサイクルに関する開示項目（例） 2/2

開示項目	基準・ガイダンス等
指標・目標	
発生した廃棄物の量	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
処分された廃棄物の総重量と内訳（廃棄物の組成別、有害・非有害廃棄物の処分業務別）	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
プラスチック容器包装がリユース可能、リサイクル可能、堆肥化可能である割合	経済産業省・環境省 「サーキュラー・エコノミーに係るサステナブルファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス」
	PRIプラスチック投資家作業部会
	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料、レストラン）
容器包装のリユース・リサイクル率	経済産業省・環境省 「サーキュラー・エコノミーに係るサステナブルファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス」
使用済プラスチックの有効利用率	
循環型の流入・流出の量及び割合	
エンドオブライフにおける生分解またはリサイクルの割合	
全てのプラスチック包装における再生材の使用割合	経済産業省・環境省 「サーキュラー・エコノミーに係るサステナブルファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス」
	PRIプラスチック投資家作業部会
	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料、レストラン）
再生材及びバイオマス由来成分の割合	経済産業省・環境省 「サーキュラー・エコノミーに係るサステナブルファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス」
再生材及びバイオマスプラスチックの利用量	
プラスチック関連の目標達成に向けた設備投資及び研究開発予算の割合	PRIプラスチック投資家作業部会

（出所）EFRAG「Draft ESRS E5 Resource use and circular economy」、GRI「GRI 306: 廃棄物」、経済産業省・環境省「サーキュラー・エコノミーに係るサステナブルファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス」、PRI「A Guide to Investor Engagement on Plastic Packaging: Fast-moving Consumer Goods」、SASB「サステナビリティ会計基準」（加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料、レストラン）に基づき作成

自然環境・生物多様性の保全に関する開示項目（例） 1/4

開示項目	該当する基準・ガイダンス等
戦略	
自然環境・生物多様性の保全（水資源、森林減少等）に関する方針	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	CDP「水セキュリティ質問書」
	CDP「森林質問書」
	Global Canopy「Forest 500」
	PRI「農業サプライチェーン上の水リスクに関する投資家協働エンゲージメントプログラム」
	PRI持続可能な一次産品に関する投資家作業部会
自然環境・生物多様性の保全（水資源、森林減少等）に関するサプライヤー行動規範	Global Canopy「Forest 500」
	PRI「農業サプライチェーン上の水リスクに関する投資家協働エンゲージメントプログラム」
自然関連（水資源、森林減少等）の依存関係、影響、リスク、機会	自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）「自然関連リスク・機会及び開示枠組み v0.3」
	CDP「水セキュリティ質問書」
	CDP「森林質問書」
水管理リスク	Sustainability Accounting Standards Board（SASB）「サステナビリティ会計基準」（農産物、食肉・鶏肉・乳製品、加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料）
水リスクに直面している農産物（原材料・商品）	PRI「農業サプライチェーン上の水リスクに関する投資家協働エンゲージメントプログラム」
森林生態系保護への重要性の認識	Global Canopy「Forest 500」
森林減少が事業リスクであることの認識	
バリューチェーンのマップ	PRI「農業サプライチェーン上の水リスクに関する投資家協働エンゲージメントプログラム」
	PRI持続可能な一次産品に関する投資家作業部会
	Global Canopy「Forest 500」
	CDP「森林質問書」

（出所）EFRAG「Draft ESRS E3 Water and marine resources」「Draft ESRS E4 Biodiversity and ecosystems」、CDP「CDP Water Security 2022 Questionnaire」、CDP「CDP Forests 2022 Questionnaire」、Global Canopy「The Forest 500: Company Assessment Methodology 2022」、PRI及びWWF「Growing Water Risk Resilience: An Investor Guide on Agricultural Supply Chains」、PRIウェブサイト（PRI持続可能な一次産品に関する投資家作業部会）、TNFD「The TNFD Nature-related Risk and Opportunity and Disclosure Framework beta v0.3」、SASB「サステナビリティ会計基準」（農産物、食肉・鶏肉・乳製品、加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料）に基づき作成

自然環境・生物多様性の保全に関する開示項目（例） 2/4

開示項目	該当する基準・ガイダンス等
戦略	
完全性の低い生態系、重要性の高い生態系、または水ストレスのある地域との組織の相互作用	自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）「自然関連リスク・機会及び開示枠組み v0.3」
共有資源としての水との相互作用	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
自然関連（水、森林減少等）リスク・機会が事業、財務等に及ぼす影響	自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）「自然関連リスク・機会及び開示枠組み v0.3」
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	CDP「水セキュリティ質問書」
	CDP「森林質問書」
自然環境・生物多様性の保全（水資源、森林減少等）に向けた事業戦略や計画	自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）「自然関連リスク・機会及び開示枠組み v0.3」
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	CDP「水セキュリティ質問書」
	CDP「森林質問書」
水管理リスクを軽減するための戦略と実践	Sustainability Accounting Standards Board（SASB）「サステナビリティ会計基準」（農産物、食肉・鶏肉・乳製品、加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料）
契約の拡大と商品調達から生じる環境的および社会的リスクを管理するための戦略	Sustainability Accounting Standards Board（SASB）「サステナビリティ会計基準」（農産物）
サプライヤーの森林減少方針遵守に関するモニタリング・検証システム、方針遵守違反に対する手続き	CDP「森林質問書」
	PRI持続可能な一次産品に関する投資家作業部会
自然環境・生物多様性関連のシナリオ分析	自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）「自然関連リスク・機会及び開示枠組み v0.3」
	CDP「水セキュリティ質問書」

（出所）TNFD「The TNFD Nature-related Risk and Opportunity and Disclosure Framework beta v0.3」、GRI「GRI 303: 水と廃水」、EFRAG「Draft ESRS E3 Water and marine resources」「Draft ESRS E4 Biodiversity and ecosystems」、CDP「CDP Water Security 2022 Questionnaire」、CDP「CDP Forests 2022 Questionnaire」、SASB「サステナビリティ会計基準」（農産物、食肉・鶏肉・乳製品、加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料）、PRIウェブサイト（PRI持続可能な一次産品に関する投資家作業部会）に基づき作成

自然環境・生物多様性の保全に関する開示項目（例） 3/4

開示項目	該当する基準・ガイダンス等
指標・目標	
水資源の持続的な利用	
取水量（水源別）	自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）「自然関連リスク・機会及び開示枠組み v0.3」
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	CDP「水セキュリティ質問書」
	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
水ストレス地域での取水量及び割合	自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）「自然関連リスク・機会及び開示枠組み v0.3」
	Sustainability Accounting Standards Board（SASB）「サステナビリティ会計基準」（農産物、食肉・鶏肉・乳製品、加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料、レストラン）
	CDP「水セキュリティ質問書」
	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
水消費量（水源別）	自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）「自然関連リスク・機会及び開示枠組み v0.3」
	CDP「水セキュリティ質問書」
	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
水ストレス地域での水消費量及び割合	自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）「自然関連リスク・機会及び開示枠組み v0.3」
	Sustainability Accounting Standards Board（SASB）「サステナビリティ会計基準」（農産物、食肉・鶏肉・乳製品、加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料、レストラン）
	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
重要な農産物の水消費原単位	
水ストレス下にある地域で生産・調達された重要な農産物の割合	CDP「水セキュリティ質問書」
再利用された水資源の量及び割合	自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）「自然関連リスク・機会及び開示枠組み v0.3」
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）

（出所）TNFD「The TNFD Nature-related Risk and Opportunity and Disclosure Framework beta v0.3」、GRI「GRI 303: 水と廃水」、EFRAG「Draft ESRS E3 Water and marine resources」、CDP「CDP Water Security 2022 Questionnaire」、SASB「サステナビリティ会計基準」（農産物、食肉・鶏肉・乳製品、加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料、レストラン）に基づき作成

自然環境・生物多様性の保全に関する開示項目（例） 4/4

開示項目	該当する基準・ガイダンス等
指標・目標	
水資源の持続的な利用	
排水量（排水先別）	自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）「自然関連リスク・機会及び開示枠組み v0.3」
	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）「欧州サステナビリティ報告基準」（案）
	CDP「水セキュリティ質問書」
	Global Reporting Initiative（GRI）「GRIスタンダード」
排水中の汚染物質濃度	自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）「自然関連リスク・機会及び開示枠組み v0.3」
創出した水資源の量	
水量・水質またはその両方の許可、基準、及び規制に関するコンプライアンス違反に関連した事故件数	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（農産物、食肉・鶏肉・乳製品、加工食品）
水使用量やリスクの管理を求めているサプライヤーの割合	CDP「水セキュリティ質問書」
自然環境・生物多様性に配慮した原材料の調達	
第三者機関の認証を受けた調達物の割合	CDP「森林質問書」
	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（農産物、加工食品、レストラン）
サプライヤーの社会的・環境的責任監査（不適合率、重大な不適合と軽微な不適合の是正措置率）	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（農産物、加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料）
調達基準に認定された第三者製品の収益	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（食品小売・流通業者）
森林リスク商品の生産・使用量	CDP「森林質問書」
	Global Canopy「Forest 500」
エンゲージメントしている、または除外している サプライヤーまたは生産者の数	CDP「森林質問書」
	Global Canopy「Forest 500」

（出所）TNFD「The TNFD Nature-related Risk and Opportunity and Disclosure Framework beta v0.3」、EFRAG「Draft ESRS E3 Water and marine resources」、CDP「CDP Water Security 2022 Questionnaire」、GRI「GRI 303: 水と廃水」、SASB「サステナビリティ会計基準」（農産物、食肉・鶏肉・乳製品、加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料、食品小売・流通業者）、CDP「CDP Forests 2022 Questionnaire」、Global Canopy「The Forest 500: Company Assessment Methodology 2022」に基づき作成

アニマルウェルフェアへの配慮、抗菌剤使用の抑制に関する開示項目（例）

開示項目	該当する基準・ガイダンス等
戦略	
アニマルウェルフェアへの配慮に関する方針（地理、畜種、製品別）	BBFAW「家畜福祉に関するビジネス・ベンチマーク」
	FAIRR「たんぱく質生産者インデックス」
抗菌剤使用の抑制に関する方針	BBFAW「家畜福祉に関するビジネス・ベンチマーク」
	FAIRR「たんぱく質生産者インデックス」
アニマルウェルフェアへの配慮を促進する研究開発や業界イニシアチブへの投資	BBFAW「家畜福祉に関するビジネス・ベンチマーク」
サプライチェーンを通じたアニマルウェルフェアへの配慮に関する方針の実施	
消費者に対する教育・啓発活動	
指標・目標	
ケージフリー、または放し飼いで生産された鶏卵の販売割合	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（食肉・鶏肉・乳製品）
妊娠雌豚ストールを使っていない生鮮・冷凍豚肉、原材料の割合	
第三者機関によるアニマルウェルフェア基準の認証を受けた生産物の割合	
アニマルウェルフェア基準に適合していることが確認されたサプライヤー及び契約生産施設の割合	
ケージのない環境に由来する鶏卵からの収益の割合	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（食品小売・流通業者）
妊娠ストールを使用せずに生産された豚肉からの収益の割合	
環境または社会的持続可能性の調達基準に認定された第三者製品の収益	
医学的に重要な抗生物質を受けていない肉製品の重量または割合	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（食肉・鶏肉・乳製品）

消費者の健康・栄養に関する開示項目（例） 1/2

開示項目	該当する基準・ガイダンス等
戦略	
健康・栄養に関する方針	World Benchmarking Alliance（WBA）「食品・農業ベンチマーク」
	栄養アクセス・イニシアチブ（ATNI）「栄養アクセス・インデックス」
栄養に関するリスク評価、レビュー、市場リサーチ	栄養アクセス・イニシアチブ（ATNI）「栄養アクセス・インデックス」
自社の健康的な食品の定義	
健康・栄養問題の解決に向けた事業戦略や計画	World Benchmarking Alliance（WBA）「食品・農業ベンチマーク」
	栄養アクセス・イニシアチブ（ATNI）「栄養アクセス・インデックス」
健康的な食品・メニューへのアクセスと価格を改善するためのプロジェクト、研究開発、製品に関する解説・事例	World Benchmarking Alliance（WBA）「食品・農業ベンチマーク」
	栄養アクセス・イニシアチブ（ATNI）「栄養アクセス・インデックス」
栄養改善プログラムの内容（職場での健康な食品、栄養教育、栄養に焦点を当てた健康診断、母乳育児支援など）	World Benchmarking Alliance（WBA）「食品・農業ベンチマーク」
	栄養アクセス・イニシアチブ（ATNI）「栄養アクセス・インデックス」
栄養教育に関するプログラムの内容	栄養アクセス・イニシアチブ（ATNI）「栄養アクセス・インデックス」
政府及び政策策定に対するロビイングの状況（業界団体等への加盟状況・資金援助、ロビー活動への支出、ガバナンス上の潜在的な利益相反の有無、業界団体等における役員としての地位）と内容	
指標・目標	
過去3年間に導入された健康的な食品の総数または比率の変化	栄養アクセス・イニシアチブ（ATNI）「栄養アクセス・インデックス」
健康的な（自社の定義による）食品・メニューの割合	World Benchmarking Alliance（WBA）「食品・農業ベンチマーク」
健康的な食品の販売促進に費やすマーケティング予算の割合	
食堂等において従業員に提供している健康的なメニュー	
健康と栄養の属性を促進するためにラベル付け、販売された製品からの収益	Sustainability Accounting Standards Board（SASB） 「サステナビリティ会計基準」（加工食品、食品小売・流通業者）

消費者の健康・栄養に関する開示項目（例） 2/2

開示項目	該当する基準・ガイダンス等
指標・目標	
ゼロカロリーと低カロリー、無糖、人工甘味料からの収益	Sustainability Accounting Standards Board (SASB) 「サステナビリティ会計基準」(ノンアルコール飲料)
代替たんぱく質製品の割合	FAIRR「たんぱく質生産者インデックス」
健康的な(自社の定義による)食品・メニューの割合	World Benchmarking Alliance (WBA)「食品・農業ベンチマーク」
業界または規制上のラベル表示、マーケティング規範の不適合件数	Sustainability Accounting Standards Board (SASB) 「サステナビリティ会計基準」(加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料、食品小売・流通業者)
	Global Reporting Initiative (GRI)「GRIスタンダード」
マーケティング、ラベル表示の慣行に関連した法的手続の結果として発生した金銭的損失	Sustainability Accounting Standards Board (SASB) 「サステナビリティ会計基準」(加工食品、ノンアルコール飲料、アルコール飲料、食品小売・流通業者)

